

真鶴港みなとまちづくり協議会 総会次第

日時 平成30年10月16日(火)
 午後1時30分~14:35
 場所 会議室

1 開会

2 会長あいさつ ^遠
 ・ 会員自己紹介

3 議題

(1) 平成29年度事業報告について ⁽⁹⁹⁾

(2) 平成29年度収支決算について ⁽¹⁰⁾

(3) 監査報告について ⁽¹⁴⁾

(4) 平成30年度事業計画(案)について ⁽¹⁶⁾

(5) 平成30年度収支予算(案)について ⁽¹⁸⁾

(6) 海のまち・豊漁豊作祭協賛事業について ⁽²⁰⁾

(7) 真鶴港周辺ランドデザインの策定について ⁽²²⁾

(8) その他 (H30工事...)

小田原ユキ 説明

- ① 個別説明あり
- ② 業者まだ未
- ③ 台帳口号...
戻りホリを付す。

豊漁祭の

ここまで質問なし

Q ネットイベント...10 (年によってちがう)

Q 第5市場からどうの+している?... 岸壁からではない
 スタッフは? ... まちづくり課から。

Q 港
 ネット - 第5市場の
 カーフ
 カヤク
 ウェブ
 *10月 - 状況確認中

資6- (松)
 7- (松)

Q GDと件外...
 補助金出るか。
 → 出ない

Q 果敢のない予算...
 がんばっている。
 財がつかなくて...
 予算が... GDおすかいらは?

岩からは? 確認して返信

これも策定して別から補助金もらえよう
 ガンバッテ

「観Q」... 港

・ 美の基準をもとに

- 海中つりOK? → OK (30分)
- 港泳いでOK?
- 海上はどこまで使える? } 場所...
 良悪いある

- まな港GDどこまで入っている?
 → 明確に分けていないから...
 風外 - 豊漁駐... に入る
- 景観... GD?
 (有線... 上から下)

真鶴港みなとまちづくり協議会 名簿

H30.10.16

所 属	役 職	氏 名	出 欠	備 考
	会 長	遠 藤 裕 久		
1 観光協会	副会長	有 澤 敏 勝		事務局長
2 漁業協同組合	会 計	朝 倉 一 志		課長 ←本OK。個別にSRCも
3 貴船神社	監 査	平 井 義 行		
4 石材海運組合	委 員	脇 山 章		鈴木組
5 ヨットクラブ	委 員	鳥 居 太 郎		代表
6 真鶴遊覧船	委 員	本 間 勝 吉		
7 湘南海上保安署	委 員	登 坂 仁 紀		次長
8 企画調整課	監 査	小清水 一 仁		課長
9 産業観光課	委 員	五十嵐 徹 也		課長
10 商工会	委 員	山 崎 良 一		事務局長
11 関東地方整備局京浜港湾事務所	オブザーバー	今 隆 之		

事 務 局

まちづくり課	事務局	菅 野 文 人		課長
12 //	//	尾 森 正		副課長兼係長
13 //	//	多 田 英 高		主任主事
14 県西土木事務所小田原土木センター	河川砂防第一課	大 谷 文 夫		課長
15 //	//	木 村 健太郎		技師
16 //	許認可指導課	大 石 義		主査
17 神奈川県砂防海岸課	なぎさグループ	荒 井 千 里		グループリーダー
18 //	//	藤 谷 匡 哲		主査



平成 29 年度事業報告

事業名	年月日	概要
協議会 総会 会議室	平成 29 年 8 月 7 日 11 : 00 ~ 11 : 40	(1) 平成 28 年度事業報告について (2) 平成 28 年度収支決算について (3) 平成 29 年度事業計画 (案) について (4) 平成 29 年度収支予算 (案) について (5) 海のまち豊漁豊作祭協賛事業について (6) その他
協賛イベント 海のまち豊漁豊 作祭「真鶴・龍宮 祭」 真鶴港岸壁広場	平成 29 年 11 月 12 日	真鶴龍宮祭内のよさこいフェスティバル・豊漁豊作市・魚まつり等イベントの協賛事業の 1 つとして、ヨット体験乗船・巡視艇体験乗船を実施。 ・海上保安庁巡視艇「うみかぜ」体験乗船 ・ヨットオーナーズクラブの協力によるヨット体験乗船 (乗船者延べ 157 名)

平成 29 年度収支決算書

歳 入

(単位：円)

科 目	予算額	収入済額	比較増減額	摘 要
前年度繰越金	216,811	216,811	0	
雑 入	20,000	15,701	△4,299	巡視艇体験乗船及びヨット体験乗船 保険料参加者負担金 15,700 円 預金利息 1 円
計	236,811	232,512	△4,299	

歳 出

科 目	当初予算額	支出済額	比較増減額	摘 要
事 業 費	50,000	39,549	10,451	
傷害保険料	40,000	37,909	2,091	ヨット体験乗船等保険料
消耗品費	10,000	1,640	8,360	体験乗船ネームプレート
予 備 費	186,811	0	186,811	
計	236,811	39,549	197,262	

収入済額 232,512 円 - 支出済額 39,549 円 = 次年度繰越額 192,963 円

監 査 意 見 書

平成 29 年度真鶴港みなとまちづくり協議会歳入歳出について、関係帳簿及び証拠書類等を監査した結果、適正であるものと認めます。

平成 30 年 10 月 15 日

真鶴港みなとまちづくり協議会 監 事 平 井 義 行



真鶴港みなとまちづくり協議会 監 事 小 清 水 一 仁



平成30年度事業計画(案)

	事業名	年月日	概要
①	協議会の開催	①平成30年10月16日 13:30～ ②平成31年1月中旬	(1) 平成29年度事業報告について (2) 平成29年度収支決算について (3) 平成30年度事業計画(案)について (4) 平成30年度収支予算(案)について (5) 海のまち豊漁豊作祭協賛事業について (6) 真鶴港周辺グランドデザインの策定について
②	協賛イベント 海のまち豊漁豊作祭「真鶴・龍宮祭」 真鶴港岸壁広場	平成30年11月10日～11日 (11日に出演)	豊漁豊作祭協賛イベント事業の実施 ・巡視艇体験乗船 ・ヨット体験乗船

☆2回目 1月半ば(予定)

平成 30 年度収支予算書(案)

【歳入】

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
前年度繰越金	192,963	216,811	△23,848	前年度繰越金
雑 入	20,000	20,000	0	預金利息 ヨット体験乗船等保険料参加者負担金
計	212,963	236,811	△23,848	

【歳出】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
事 業 費	50,000	50,000	0	
傷害保険料	40,000	40,000	0	ヨット体験乗船等保険料
消耗品費	10,000	10,000	0	イベント用消耗品
予 備 費	162,963	186,811	△23,848	
計	212,963	236,811	△23,848	

巡視艇「うみかぜ」及びヨット体験乗船 実施要項(案)

1 日 時 平成30年11月11日(日) 午前9時半～午後3時

2 会 場 真鶴港 第4、5物揚場

3 目 的 真鶴港において開催される「海のまち豊漁豊作祭」の一企画として、一般の来場者を対象に真鶴港周辺を周遊することで自然豊かな真鶴の魅力を再発見するとともに、海難防止思想及び海洋環境保全思想の普及・啓発を図るため。

4 実施内容

①海上保安庁巡視艇「うみかぜ」体験乗船

・対 象 来場者を対象に1回20名乗員 4回実施

・時 間 第1回 10:30～11:10
第2回 11:30～12:10
第3回 13:00～13:40
第4回 14:00～14:40

※受付時間は、第1・2回は9時半～、第3・4回は12時～とし、先着順とする。

・乗降場所 第4物揚場

②ヨット体験乗船

・対 象 来場者を対象に1艇あたり5名程度乗員 3回実施

・時 間 第1回 11:00～11:40
第2回 13:15～13:55
第3回 14:15～14:55

※受付時間は、10時～とし、先着順とする。

・乗船場所 第5物揚場

5 その他 うみかぜ、ヨット乗船者から保険料1人あたり100円を徴収する。

真鶴町グランドデザインの策定について

1. 策定の背景・目的

人口減少や高齢化が進み、神奈川県で唯一「過疎地域」に指定された真鶴町では、この先何十年にもわたり自立していくために、長期にわたる町の方向性を示すグランドデザインを作っています。

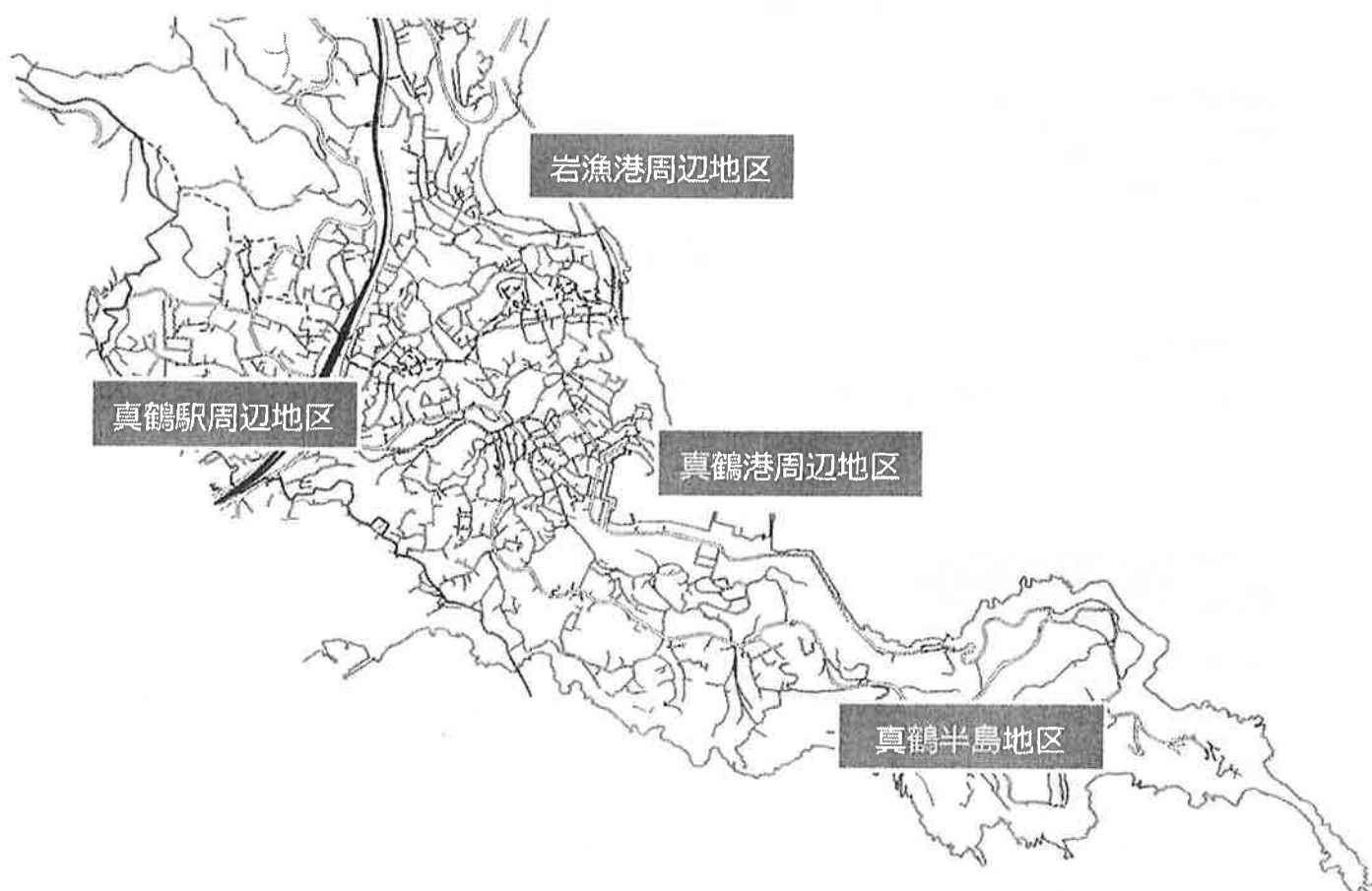
グランドデザインでは、町全体として、過疎対策・自立促進を図りつつも、真鶴らしさを極力残していく方向性を検討しているところです。

また、町全体での方向性を基に、主要な地区ごとの方向性を示したグランドデザインも作ることで、地区ごとの特色を出していきたいと考えています。

真鶴町の将来イメージを定めていくうえで、町民の皆様のご意見も伺いながら進めていきたいと考えていますので、どうぞご協力をお願いいたします。

2. 地区グランドデザインの対象地区

下図に示すような「岩漁港周辺地区」、「真鶴半島地区」、「真鶴港周辺地区」、「真鶴駅周辺地区」の4つの地区ごとに地区のグランドデザインを作ります。



3. 各地区グランドデザインのコンセプト等（案）について

各地区のグランドデザインを作るにあたり、町では、以下のように各地区のコンセプト等を考えています（現時点での町としての案です）。

岩漁港周辺地区

■コンセプト

岩漁港のポテンシャルを活かして観光・交流人口を増大させ、「まちの活力」として、地域の活性化を図る

■方向性

- ・漁業のさらなる振興
- ・岩地区のにぎわい創出

真鶴半島地区

■コンセプト

真鶴の「まちの源」として、お林をはじめとした貴重な地域資源を守りつつ、この場所に来たときに「真鶴らしさ」を味わえるような活用も検討する

■方向性

- ・お林をはじめとした自然、歴史、文化の保全
- ・観光、滞留拠点の整備による地域の魅力向上

真鶴港周辺地区

■コンセプト

歴史を感じる「まちの起点」として、貴船まつりや様々なイベントを通じて、にぎわいの創出を図る

■方向性

- ・県が施設整備を進める中、ソフト的な施策による真鶴港周辺の魅力向上
- ・真鶴港周辺地区の町施設の再活用等による にぎわいの創出

真鶴駅周辺地区

■コンセプト

「まちの顔」として、交通利便性の向上と来訪客の増加に向けて整備する

■方向性

- ・都会的な整備ではなく、美の基準を意識した昔ながらの良さを活かす整備
- ・ロータリーの再整備による人の流入の誘導
- ・安全かつ快適に移動できる駅前、にぎわいのある駅前の形成

真鶴町グランドデザイン 全体構想 (案)

資料7



まちの起点：地元産業とレジャー・^{貴船}伝統文化・^{はつかり}文化継承・観光交流・^{真鶴港}要所・歴史・まつり・^{美の基準}美の基準・^{景観}景観・^{まちなみの保全}まちなみの保全・食・^{にぎわい}にぎわい・^{ダイビング発祥の地}ダイビング発祥の地・安心安全

基本方針

- 県が施設整備を進める中、ソフト施策(既存施策と新規施策)の充実を図り、真鶴港の魅力を高める
- 真鶴港周辺地区の町施設の再構築・再活用を行い、にぎわいを創出する



〔平成 30 年度 工事の予定について〕

- ① 浮棧橋設置工事（公共マリーナ区）
施工期間：平成 30 年 11 月～平成 31 年 3 月末（予定）
受注業者：(株) 鈴木組
- ② 南漁業基地改修工事（第 3 物揚場、南船揚場）
・今年度は直立消波ブロックの製作のみ
・製作ヤードは琴ヶ浜広場駐車場
施工期間：平成 30 年 11 月～平成 31 年 4 月末（予定）
- ③ 災害復旧工事（自然石護岸）琴ヶ浜
施工期間：平成 31 年 2 月～6 月末（予定）

【位置図】



『町民との意見交換会』 を開催します。



○ 意見交換のテーマ

〈第1部〉町が設定したテーマ

「真鶴町ランドデザインの策定」

今年度、町が取り組んでいる4地区の将来構想の策定(真鶴駅周辺・真鶴半島・真鶴港周辺・岩漁港周辺)について説明し、ご意見等を伺います。

〈第2部〉募集により設定したテーマ

①「真鶴町の防災」

②「将来を担う子どもたちのために、行政と町民ができること」

【お願い】 ②のテーマについて、当日の会場で、皆さんの想いやお考えを記入する時間を10分程度設けます。それらを参考にして意見交換を進めたいので、事前に考えてきていただけるようご協力をお願いします。

ご意見やご要望を今後の町政に活かすことを目的としていますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています！



日時

平成30年10月21日(日曜日)

午後1時～3時



会場

町民センター

3階 講堂

※「車座」形式で行います。お気軽にご参加ください。

★託児もできます。

(事前申込制)

希望する方は、10月15日(月曜日)までに企画調整課へ申し込みをお願いします。

【お問い合わせ】真鶴町企画調整課 企画情報係
電話68-1131(内線323)

平成30年度

**真鶴町グランドデザイン策定事業にかかる
住民との検討会（住民説明会）の開催予告**

今年度、人口減少や少子高齢化に対応した自立する町をめざし、町の今後の方向性を示す町全域を対象とした将来構想（グランドデザイン）の策定を進めています。

この構想は、町の主要な4地区（岩漁港周辺、真鶴半島、真鶴港周辺及び真鶴駅周辺）を対象としています。

現在、専門家や町民の代表者などによる検討会や会議を開催しており、素案作成のための意見集約を進めています。

今後、素案が完成した段階で11月下旬から12月上旬に複数回数、複数会場で住民との検討会（住民説明会）を開催し、町民の皆さまから直接ご意見を伺う機会を設けます。

関連する説明会等の詳細は広報真鶴11月号、町ホームページ、自治会回覧等でお知らせします。町の将来の方向性に影響する重要な構想なので、興味関心をお持ちいただきぜひご参加ください。

※ 10月21日の意見交換会は、第1回の住民説明会を兼ねており、この策定事業をテーマの1つとしています。

【担当】真鶴町企画調整課 企画情報係
電話68-1131(内線323)